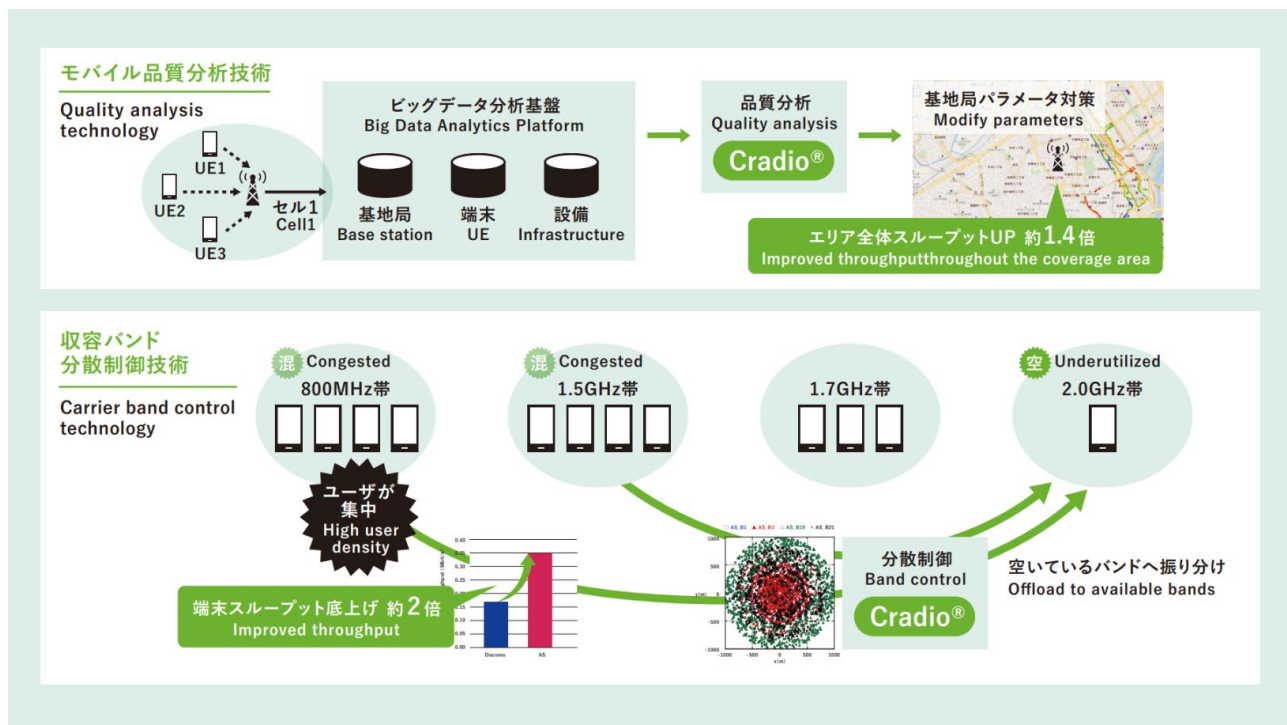


品質分析技術、収容バンド分散制御技術によりモバイル通信の品質向上を実現します Cradio®によるモバイル通信品質向上

背景 – 技術課題

繁華街など人が密集するエリアでは、モバイル通信の利用が集中することで、通信品質に影響を及ぼす傾向があり、安定した接続性と通信速度の確保が課題となります。そこで、マルチ無線プロアクティブ制御技術（Cradio）を活用し、モバイル品質の向上を試みました。



研究目標 – 成果

時々刻々と複雑に変動するモバイルトラフィック環境に追従し、モバイルネットワーク運用における品質改善サイクルの短縮化・通信品質安定化を実現します。

技術ポイント

01 要素技術

- ・ キャリアの有するビックデータを活用した品質分析技術
- ・ モバイルトラフィック状況も踏まえ、オンデマンドに無線リソースを最適化する品質制御技術

02 市中技術差異点

- ・ キャリアの有するビックデータを活用したモバイルネットワーク運用を改善する品質分析技術
- ・ 常時変動するモバイルトラフィックも踏まえてオンデマンドに無線リソースを最適化する品質制御技術

利用シーン マルチインダストリー

R&Dフェーズ 開発

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY25-26

【出展企業】
NTT株式会社 アクセスサービスシステム研究所
【問い合わせ先】
無線アクセスプロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
—
【関連Link】
<https://journal.ntt.co.jp/article/13100>
https://www.rd.ntt.iown_tech/post_75.html